

285

内閣情報部八・二五 情報第七號

重慶露語放送 (二十三日)

(大阪通信局謹取)

新聞論説「獨ソ不可侵條約締結に關する中朝紙の論調に就て」

中國各紙は獨ソ不可侵條約に就て夫々批判を下して居るが、ユンセンペー紙は二十三日の社説で「獨ソ不可侵條約締結はまさに一九三九年の國際政局に與へた一大事件となるものである。即ち國際政局は實に一大變轉を來したといつていいのである。此の條約締結發表は實に突發的事件ではが與へた衝撃は英佛兩國に對し極めて強烈なものである。兩國はソ聯との間に三國協定の交渉中にあつたもの故その衝撃はまさに強大であつた。

英佛兩國は是を以て西方への一大威嚇はいよいよ酷烈となり佛國は佛ソ條約の頼む可らざるを完全に見せつけられたものとし、ソ聯の平和維持、集團的平和保障政策に對し兩國は疑義を抱くに至つた。

日本軍部はこの報道に依て周章狼狽し電聲的警愕をしてゐる。最近の事件に於て此の事件程全世界を衝動せしめたものはない」と。

上海……紙は「獨ソ不可侵條約は世界の各國を震撼せしめて居るが、滬東支那に取つて如何なる反響をなすかと願つてまづ上海銀行商業界には一般に好感を以て迎えられて居る。

日本の内閣は是が報道に一大衝動をうけ急遽重要會議を行ひつゝあり、ソ聯の滿ソ國境に於て示した偉力はこゝに明白な對外反響を呼起した」と論じ、ドミンバオ紙は「獨ソ通商協定の公表直ちに獨ソ不可侵條約の公表をなし世界に衝動を興へた。是に依て反響するところは多々あるが、是はひとりヨーロッパのみならず、極東支那及日本に於ても然りである。獨ソ關係の好轉は結核支那にとつて有利である。日本は他國に依る威嚇手段を失ひ是に依てむしろ兩國の間に狭まり、二國を敵視せねばならなくなつた。ソ聯は極東日本に對する配慮を是が爲に緩め得ることもにその以前の日本への態度とは異つた態度を以て是に對するを得るであろう」と評して居る。

内閣情報部八・二五、情報部外

哈府露語放送（二十三日）

（東京都市通信局轉取）

一、最近印度その他英領植民地に於て労働者の罷業及一揆頻發し昨年は特に多數に達した、マンチエスターガーデーアン紙の報道に依れば植民地省では之が對策に乗り出す事に成つたが労働は著しく引下げられ生活水準は極度に低下し負債は益々増大する充分の食料も取れない加ふるに労働時間は延長され而も工場等の衛生設備は益々増大する充分の食料も行病に罹病するもの多く七〇％は病人である相である、

二、蘇聯邦財政人民委員部發表

第三次五ヶ年計畫第二年公債申込は八月二十日現在七四億三千百八十七万七千七百ルーブルに達し定額を超過する事十四億三千百八十七万一千ルーブルである、八月二十一日を以て新公債申込受付を停止す、